

ノートの書き方 (例) 【低学年】

- 基本的に、見開き2ページ
- 書く内容が変わるときは、1、2行あけて使う。
- 線を引く、筆算を書くときには、定規を使う。

19/20 P10

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | + | - |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|

① 1はさにおかしが6こずつ入っています。
4はさでは、おかしは何こになりますか。

しき 6×4

1つ分の数 いくつ分

→ 6こずつの4はさ分。
 → 数えてもとめるのはたいへん。

② 6×4 の答えのもとめ方を考えよう。

③

- ・ 図
- ・ ことば

ひつげ
日付・ページ

もんだい
【問題】
えんぴつで線をひく

わかっていることは直線
 たずねられていることに波線
 答えの単位は○でかこむ

【めあて】
 あおせん
 青で線をひく

みとお
【見通し】

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | + | - |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|

①

○ ○ ○ ○ ○ ○ 6この
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 4つつ分
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ → 6を
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 4つつたす

$6 + 6 + 6 + 6 = 24$
 12 18 24 答え 24こ

② 6×4 の答えは、
 $6 + 6 + 6 + 6$ の計算で
 もとめることができる。

③ ① $3 \times 4 = 12$ 答え 12こ
 $3 + 3 + 3 + 3 = 12$

④ 数えなくてもかけ算の答え
 が出せるのでべんりでした。

かんが
【考え】

【まとめ】
 あかせん
 赤で線をひく

かえ
【ふり返り】